

しいだびゅう

しいだ市民劇場 会報 vol. 110 菜の花らぶそでい



青年劇場 公演

菜の花 らぶそでい

山下惣一 原作
高橋正昭 脚本
松波喬介 演出

あらすじ

佐賀県唐津市の郊外。代々専業農家を守り続けてきた稲葉家。息子の大地はアメリカに農業留学をし、佐賀の農業大学で講師を勤めているが農業を諦めたわけではない。仲間たちとグリーンツーリズム=農山漁村と都会との交流で村の活性化を計ろうという壮大な計画を立ち上げようとしていた。一方、鉄人は隣人の元医者、平九郎と「身土不二」のルーツ探しに没頭し図書館通いに余念がない。

いよいよ「ユートピア唐津」の実現に乗り出した大地たち。だが「先祖代々の土地ばこがんチャラついた観光地にするとは絶対に許さん！」と鉄人に一喝され、仲間たちもことごとく親たちの反対に会い前途多難な気配。「ユートピア唐津」は「身土不二」ば現実にしたもんと言うても良かじゃなかね。」大地は必死に説得を続ける。

折しも農業高校からホームステイで受け入れた高校生たちの食生活に天地がひっくり返るほどの驚愕を受ける鉄人や民子。そこへ大地の恋人キャサリンがアメリカから大地を追いかけてやってきて村は大騒ぎ！はたして「ユートピア唐津」の行方はいかに…。



青木 力弥
稲葉 鉄人



上甲 まち子
稲葉 民子(鉄人の妻)



小竹 伊津子
稲葉 とし(鉄人の母)



後藤 陽吉
大河内平九郎(元医者)



キャスト

稲葉鉄人……………青木 力弥
 民子(鉄人の妻)……上甲 まち子
 とし(鉄人の母)……小竹 伊津子
 真人(鉄人の弟)……島田 静仁
 大地(鉄人の息子)…清原 達之
 米田耕太(大地の仲間)…中川 為久朗

田畑早苗(大地の妹)……………崎山 直子
 猪原桜子(農協職員)……………浦吉 ゆか
 小林勇作(農業高校生)……………真喜志 康壮
 大森春樹(農業高校生)……………佐藤 勇生
 大河内平九郎(元医者)……………後藤 陽吉
 キャサリン・テイラー……………アンシア・フェイン
 馬面長太郎(東京から来た男)…広尾 博



清原 達之

稲葉 大地(鉄人の息子)



中川 為久朗

米田 耕太(大地の仲間)



崎山 直子

田畑 早苗(大地の妹)



広尾 博

馬面長太郎
(東京から来た男)

飯田でも盛んな、 食と農の取組み

★舞台は佐賀県唐津ですが、飯田での食と農はどんな状況なのだろう？…と、飯田市農業課の清水さんを訪ね、お話を伺いました(以下、清水さんのお話を元に、こちらで組み立てた文章です)。

●農への関心は命への関心

劇中でてくるグリーンツーリズム。飯田においても積極的に展開されているようです。中でも凄いのが、「体験教育旅行」と呼ぶ、中・高修学旅行生らの受け入れ。農家へ1泊ホームステイしながら農作業を体験し、近隣ホテルでもう一泊と観光を楽しんでゆく、ユニークな感動旅行(バリエーションも沢山)。体験旅行としてH8年に始まり、H10年から農家民泊を組み入れ、受け入れを「南信州観光公社」に引き継ぎながら、年々拡大し、昨年1年間で**25000人(!)**の受け入れ(新聞によれば今年**35000人**の予約があるとの報道)。これだけの人々が飯田を訪れていたのだと知り、驚きです。

他にも「ワーキングホリデー」と呼ぶ、一般対象の援農事業なども実施。都会の人々にとっては、宿泊費・食事代が要らないお手頃価格で農作業体験(&旅行)ができ、一方の農家では、忙しい時期の人手が無報酬(食事と泊りの負担のみ)で確保できるという、相互の利点を結びつける役目です(これは市が主幹)。H17年の参加述べ人数は**1533人**で、毎年リピーターも増え、好評のようです。

★自らが食べるものを自らの手で作る実感。食と農の接近から得られる相互の理解。見るだけの観光ではなく、手を使い身体を使った経験が、理解をより深め、生命を育む実感として身に刻まれていくのだと思いました。

●地産地消をさらに深めた“域産域消”

舞台上で研究されてゆく「身土不二」は、その土地でとれる旬の食材をいただくことを食の基

本とする思想。飯田では、「“地産地消”だけでは狭くなりがちだ」との提言から、もう一步深めて、“域産域消”として取り組んでいます。これは、農業生産→消費者といった狭い循環でなく、農家→流通に関わる市場→食材を使う栄養士→調理員→旅館・飲食店・消費者など、「食にかかわる地域ネットワーク」がより良い循環で流れることを、めざしているのだとか。

学校・保育園給食への地元食材供給利用も、早い時期から取り組まれているとお話。子供たちに成人病が忍び寄り、アトピー・アレルギーなどの病気も多くなっている現実から、食育にも力を注いでいるとのこと。また子供たちだけでなく、家族の健康を預かる主婦(母親)の方々にこそ食の大切さに気付いてもらえるよう力を入れている。ひとつに、「あぐり女学院」という、若い女性対象の講座を定期的に開いてきており、講師の、南相木郡で自給自足をモットーに暮らす細井先生が、身土不二について熱く語って下さったのを聞き、自分の手で農産物を作ることの大切さ、自分の住んでいる所で採れる旬を食べることの大切さに気付き、「やっぱり農業大事だねえ」と感想を語られたのだとか。まさにこの劇のテーマとも重なっています。

地域で、行事や季節に合わせて作られてきた料理(行事食)や、それに必要な食材などを、見やすくカレンダー形式にまとめ作った「飯田の食ごよみ」を一つ頂きました。折々の“旬の食材”を知り、それらを使って、行事食を作り食す。楽しみながら旬を感じ、旬に気づき、おいしく食べて健康に暮らせるとは、まさに一石二鳥ですね。これは是非活用したいと思いました。

★私だけが知らなかったのかもしれませんが、清水さんのお話を聴いて「飯田も凄いなあ」と驚きの連続でした。飯田の街がますます好きになり、誇りに感じた今日このごろです。



残念！ 「銀河鉄道の夜」 1名クリアならず

いいだ市民劇場第109回例会、わらび座公演ミュージカル『銀河鉄道の夜』、いかがでしたでしょうか？ おそらく賢治も見上げたであろう、銀河の星々。その澄んだ透明感、きらきらと輝くような歌声。耳に今も残る「♪銀河に瞬く～星々を訪ねて～」のテーマ曲。現代社会での大きな問題となっている、貧苦やイジメ・死なども向き合いながら、ほんとうの幸を探しつづけるジョバンニの姿が胸を打つ、素敵なおミュージカルだったかと思います。会員の方たちからも、「素敵だった」「ほんとうの幸せについて、考えさせられた」などをはじめ、『銀河鉄道の夜』をあらためて読み直してみたいと思った」「賢治の世界の奥深さを堪能した」といった声が聞こえました。

さて一方の会員数は、残念ながら、前例会よりもマイナスとなってしまいました。担当の皆さんが、「自分のサークルで1名プラス」を目標に努力しましたが、21名の退会者に対し、11名の入会者にとどまってしまいました。2年半にわたって続いてきた前例会クリアの糸が、ここで切れてしまったこと、大変残念です。会議の中で、「私の周りには年よりばかりで、入ってくれそうな人はいない」とか「介護する老人を抱えてしまっ、見続けられない」など、マイナスな声ばかりが目立ち、あきらめムードが蔓延。そこからもう一頑張りできなかった弱さも、反省材料です。

事前・当日の係分担では、ミュージカルゆえ音響機材や照明機材なども多く、搬入・搬出も大変でしたが、担当人数が多かったおかげで、特に大きな落ちもなく、無事にやり遂げられました。みなさんお疲れさまでした。

◆「アラブの女」は会員さん

劇中、銀河鉄道の車中に、黒い服を来て赤ん坊を抱いた女性「アラブの女」が登場しましたが、これ、実は会員さんのエキストラ出演だったのです。ギリギリまで出演者を決められず、前回の会報でお知らせできませんでしたので、ここでご報告させていただきます。ご出演くださった木下貴代さん、ありがとうございました。

◆駐車場トラブル発生

開演して30分ほど後、駐車係の人から「郵便局の駐車場の出口に車を停めた人がいて、職員の車が出られない」との連絡。駆けつけ、車の窓などどこか開いてないか？ 車ごと持ち上げて横に移動出来ないか？…など、いろいろ試してみましたが、ダメ。持ち主の名前だけでもわかれば、名簿から→サークル→座席→持ち主と繋がるかもと、懐中電灯で車内を照らし探しましたが、手がかりなくこれも断念。警察に「このナンバーの持ち主の名字だけでも教えてもらえないか？」と電話してみましたが、にべもなく断られ…。通路に「〇〇-〇〇車の移動を」と看板持って立って見ましたが、これも効果なく、万策尽き果てました。

幸いにも、相手の方が優しい方で、終演まで我慢して待っていただきました。ここ数年駐車場トラブルはゼロだっただけに残念です。次回以降は絶対に駐車場トラブルを起こさないよう、みなさん、お願いします。

「銀河鉄道の夜」新入会

AKIRA	1	うめ	1
FUちゃん	1	えんどうまめ	1
アップル	2	姫りんご	1
味の全	3	さくらんぼ	1

※個人情報保護の観点から、会員個人名の掲載は控えた方がよいとの判断から、サークル名と人数のみとさせていただきます。

2009年4月以降 例会候補作品

昨年度からの「継続」に、今年度の「新規」作品を加え、劇団・創造集団の皆さんから、長野県演鑑連に向けて2009年4月以降の例会候補作品としてご提出いただいた作品一覧です。

	タイトル	出演
あさり座	足の裏の神様	浅利 香津代
劇団1980	素劇(すげき) あゝ東京行進曲	室井 美可 澤 純子
	職員会議	柴田 蘆之 山本 麗世
	エイコーン	アンナ・カレーニナ
劇団NLT	嫁も姑も皆幽霊	田村 亮 音無 美紀子
	宴会泥棒	林 与一 旺 なつき
劇団える心	みすゞ凜々	金井 聡 小川 墨永子
演劇集団 円	アフリカの太陽	有川 博 佐々木 敏
岡部企画	花祭	入江 香子 阿部 百合子
音楽座ミュージカル/Rカンパニー	音楽座ミュージカル とつてもゴースト	浜崎 真美(予) 安中 淳也(予)
	音楽座ミュージカル 泣かないで	今津 朋子(予) 吉田 朋弘(予)
まさかね図書 舎+小雁倶楽	新・裸の大将放浪記	戸屋 小雁 米倉 秀加年
加藤健一事務 所	エキスポ	加藤 健一 有福 正志(予)
関西芸術座	少年H	梶山 文哉 門田 裕
木山事務所	出番を待ちながら	雨風 洋子 松下 砂稚子
	道連れからん	林 次樹 水野 ゆふ
京楽座	コンサートドラマ ピアノのはなし	中西 和久 佐々木 洋子(P)
	山椒大夫考	中西 和久
	をぐり考	中西 和久
劇団コーロ	聖(さとし)の青春	大村 輝也 石井 満
こまつ座	兄おとうと	神野 三郎(予) 辻 高長(予)

これらの作品をベースに、各地で討議を行ない、県の企画会議・幹事会などで討議し、例会を決めてゆきます。昨年度と同様に、さらに詳しい情報を掲載した冊子「作品討議資料」を、9月例会にはお1人1冊に配布しますので、サークル皆で討議をし、「例会としてどの作品がふさわしいか」のご意見をお寄せください。

	あちらかオペラ	出演
オペラシアター こん	夏の夜の夢 ～嗚呼！ 大正浪漫編～	川崎 節男 大石 哲史
	にやく座 オペラ フィガロの結婚	大石 哲史 川崎 節雄
シーエイティ プロデュース	天国の本屋 (ストレート プレイ)	河相 我聞(予) 相野 まひる(イ)
	6週間のダンスレッスン	草笛 光子 今村 ねずみ(予)
シルバーライ ニング	セメタリー倶楽部 The Cemetery Club	丘 みつ子 新藤 恵美
	グッド・ドクター (名医先生)	立川 三貴 三田 和代
	最後の恋 Last of the Red Hot Lovers	鶴田 忍(活動歴) 夏樹 陽子(ホリプロ)
劇団新人会	紙屋悦子の青春	都筑 直美 萩原 萌
新制作座	泥かぶら	小津 和知雄 樽 留美子
	熊 喜劇一幕	真山 剛聖 藤川 光子
劇団スイセイ・ミュージカ	ミュージカル 楽園	相原 奈保子(予) 中村 香織(予)
劇団スーパー エキセントリック クシアター	接見 ある園遊井護士の物語	小宮 孝泰/
	タイツマンズスペシャル LIVE	野添 耀弘(予) 赤堀 二美(予)
劇団 罪	アルジャーノンに花束を	平田 広明 石波 鶴人
青年劇場	族譜	骨木 力弥/船津 基
劇団青年座	妻と社長と九ちゃん	山野 史人 岩崎 ひろし
劇団前進座	歌舞伎十八番の内 鳴神	嵐 圭史/ 河原崎 國太郎
劇団だるま座	桜散る 散るもつもるも 三春乃一座	劇団だるま座劇団員
	怪盗先生、教壇に立つ	劇団だるま座劇団員
劇団鳥獣戯 画	ポップスドラマ カリフォルニアドリーミン	杉山 佳寿子(予) あざち 守(予)
	三人でシェイクスピア	ちねん まさふみ 石丸 有里子
	ルームサービス	安原 龍人 沢 りつお
テアトル・エ コー		

劇団手織座	周五郎二題	宝生 あやこ 牧口 元美			
劇団東演	臨時病室	菅山 栄一 矢野 泰子			
東京演劇アン サンプル	桜の森の満開の下	久我 あゆみ 公家 義徳			
	明日を紡ぐ娘たち	原口 久美子 清水 優華			
東京芸術座	よだかの星	鈴木 健一朗 相生 千恵子(予)			
	ダモイ 収容所(ラゲージ)から来た通書	荒谷 清人 新納 敏正			
	賭けること	河西 徹司 阿知波 悟美			
トム・プロジェ クト	カラフト伯父さん	岡田 健徳 ベンガル			
	夏きたりなば	仁科 亜季子 小林 美江			
	骨喰 ～骨喰キ乱レテ風車～	高橋 長英 新妻 聖子			
	東おんなに京おんな	岡本 麗 富樫 真			
	エイジアン・パラダイ	谷田川 さほ 佐藤 文雄			
劇団編織	Big brother	菊地 佐枝子 千田 繁生			
	流星ワゴン	錠野 元彦 馬淵 真希			
	35周年記念講演	千田 繁生(イ) 佐藤 文雄(イ)			
劇団仲間	ふたりのイーダ	兼松 正敏or古川伴経 (ダブルキャスト) 関口 寛			
劇団俳小	ジョン万次郎外国見	斎藤 真 松本 光史			
劇団俳優座	風薫る日に	浜田 真彦 神口 寛			
俳優座劇場ブ ロデュース	家族の写真	中村 たつ 日下 由美			
	東京原子核クラブ	田中 壮太郎 西山 水木			
	神田さち子語り芝居	神田 さち子			
	ミュージカル アル ジャーノンに花束を	浦井 豊治 戸井 勝海			
博品館劇場	辛口ミュージカル Miss Saikon ミス再婚	香寿 たつき バク・トンハ			
	イブラヒムおじさんと コーランの花たち	三田 和代 麻実 れい			
	オリジナルミュージカル タック	坂元 健児(予) 堀内 敬子(予)			
博品館劇場	Musical The Tap Guy	小堺 一樹(初演時) 玉野 和紀(初演時)			
	ミュージカル HONK!(ホンク!)	木村 昂			
ピュアーマ リー	マウストラップ ～ねずみとり～	秀本 夏代子(予) 内海 光司(予)			
	ニューヨーク青春物語	瀬下 尚人(予) 野沢 聡(予)			
	サン・サーンス「動物の謝肉祭」 より				
人形劇団ブ ック	うかうか三十、ちよろ ちよろ四十	安尾 芳明(予) 栗原 弘昌(予)			
	ミュージカル 月のしずく	井上 一馬 茂木 沙月			
イツ・フォー リーズ	ミュージカル おれたち は天使じゃない	福沢 良一 坂口 阿紀			
	戯曲 赤い月	平 淑恵 原 康晴			
劇団文学座	初雪	八木 昌子 倉野 章子			
劇団文化座	二人の老女の伝説	佐々木 愛 新井 純(フリー)			
	神様が眠っていた12ヶ 月	長山 藍子 松山 政路(客演)			
劇団朋友	黙って行かせて ～Let me go～	菅原 テネ子 西海 真理			
	明石原人 ある夫婦の物語	日色 ともみ 千葉 茂則			
劇団民藝	静かな落日 ～広津家三代～	榎山 文枝 伊藤 孝雄			
無名塾	長州異聞 -白井飯山小伝-	庵 大介 長森 雅人			
山彦の会	音楽劇 母さん	伊東 恵里(予) 鈴木 慎平(予)			
ザ・ライフ・カ ムパニイ	ミュージカル Hospital Hospital	たにむら 玲子 はらかわ 未来			
幹の会+リ リック	王女メディア	平 幹二郎			
	ミュージカル アテルイ	わらび座劇団員			
わらび座	ミュージカル	わらび座劇団員			

事務局通信

2007/6/8 vol.110

新会員証を発行しました

2008年6月まで使用ができる、「新会員証2008」を発行しました。本例会の座席シールと同時に発行しましたので、すでにお手元に届いているかと思いますが、まだお持ちでない方は、代表者にご確認ください。色はピンクです。1年間使いますので、大切にお使いください。

前回の会報で「表紙に会員歴(年数)を印刷してみようか?」と書きましたが、実現しませんでした。“現在日”-“人会日”=で計算して、名前の横に印刷できる予定だったのですが、スキル不足でうまくいきませんでした。すみません。(白黒たとわからないかな?右写真は菜の花畑)



劇団東演 朗読劇「月光の夏」を観にゆこう

飯田は年間4例会ですが、伊那・すわ湖は5例会、長野・上田・まつもとは年間6例会行なっています。つまり飯田より1~2作品見られるの本数が多いのです。

その1作品が、この7月に公演される、劇団東演の朗読劇『月光の夏』です。

太平洋戦争末期の昭和20年初夏一音楽を愛する学徒出身の特攻隊員二人が学校に駆けつけ、今生の別れにベートーベンのピアノソナタ「月光」を弾き、沖縄の海に出撃していった。

公演日程は右ページにあるとおりです。どこでも都合の良い日で観劇できますが、特に伊那での公演が7月21日土曜日の夜と22日の日曜日の昼で、観劇にいきやすい日程ですので、ぜひ皆でいきましょう。観劇には2000円が必要ですが、とてもお得な金額です。ご希望の方は、24-9865へお申し込みください。交通費も割安になるよう乗り合ってゆければと思いますので、よろしくお祈いします。

このあと予定されている 例会ラインナップ

例会は、会場の利用状況・季節・行事・地域イベントなどを考慮し、3・6・9・12月での実施を予定しています。

スイセイ・ミュージカル

広い宇宙の中で

旺なつきが魅せる! 歌も踊りもパワーアップしたスイセイ・ミュージカルが贈るハートフルミュージカル。



2007
9月

劇団NLT

コメディアー オスカー

抱腹絶倒のヴァールヴァール劇(フランスの風俗コメディアー)を鶴山仁演出、村井国夫主演でお届け。



2007
12月

★3月末まで、劇団の皆さんから提出いただいた90を超える作品の中から、県下統一の作品資料集作成・配布、これを元にした各地での「企画説明会」「サークル討議」などを経て、長野県下同じ時期に同じ作品と一緒に出来る様、検討してゆきます。会員の皆さんの積極的な取組みをお願いします。

イツツ・フォーリーズ 天切り松

松蔵(左とん平)が語る、古き良き江戸の名残の義理人情。六尺四方から先へは聞こえないという夜盗の声音“聞がたり”で語る、遙かな昔の物語。



2008
6月

劇団朋友 明日の幸福

石井ふく子演出、長山藍子、竹脇無我ら出演。テレビ『渡る世間は鬼ばかり』等で活躍中の面々による新演劇。



2008
3月

青年劇場「50年への挑戦」を応援しよう
5000万円募金にご協力を!

本日会場のロビーに、青年劇場「50年への挑戦」応援5000万円募金の箱を置いてあります。募金の趣旨として、「青年劇場では、ここ数年、公演活動の柱である学校公演が減少するなど、大きな困難に見舞われる中、これまで通り多彩な演劇活動を繰り広げ、劇団を継続発展させる決意として「50年への挑戦」を決めました。その決意をご理解いただき、応援してほしい」というものです。『菜の花らぶそでい』『遺産らぶそでい』『翼をください』等で私たちに熱い舞台を見せて下さった青年劇場の皆さんの活動を応援しましょう。ご協力お願いします。

訃報

◆北村和夫さん(享年80歳)…5月6日(日)午前7時40分、肺炎による呼吸不全のため亡くなりました。当会の発足例会『教員室』と、『花咲くチェリー』で、ご出演をいただきました。発足記念となった『教員室』では、地人会さんより、出演者サイン入りの舞台写真パネルを頂き、今も事務所の壁に飾ってあります。ご冥福をお祈りいたします。

◆鈴木光枝さん(享年88歳)…5月22日午前2時45分、老衰による心不全のため亡くなりました。『三婆』『おりき』『あかきくちびるあせぬまに』『サンダカン八番娼館』で、ご出演をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

▼事務局受付時間

昼15時～夜19時迄

▼定休日

土・日・祝日

※お越しになる際は念の為、携帯・PCなどでインターネット上の事務局カレンダーを閲覧して下さい。

長野県演鑑連の情報

◆県ではこの6月16-17日に上田で、活動交流会を開催します。テーマは「サークルをつくるとは!?!」。長野県下の7団体はここ数年、会員数はかろうじて増やせているものの、サークル数が減っており、これを課題として、どうしたら創れるのかを、皆で討議してゆきます。

◆お盆開けを目途に企画作品資料集を各地へ配布できるよう、準備が進んでいます。90本もある中からまずは20本をピックアップする話し合いが、これからです。

◆トム・プロジェクト『とんでもない女』を下見しました。これ! すごく良い芝居です! 川島なおみさんが華があって、演技も良く、もう最高。下條アトムさんもうまいし味があるし、吉田羊さんがまたユニークで可愛くて光ってて、とても感激して帰ってきました。こんな作品を飯田に呼びたいですね。

☆飯田での公演を、都合で鑑賞できない場合、事務局へ事前に申込み、会員証を持って行けば、県内の他市民劇場公演を鑑賞できます。

…が、今回の『菜の花らぶそでい』は飯田が最後なので、本日以降は観られませんが、以下の2作品が2000円で鑑賞できます。

☆有料にはなりますが、以下の2作品が2000円で鑑賞できます。

■県内公演日程■

朗読劇「月光の夏」

料金は2000円

上田 07/12-14

松本 07/16-19

諏訪 07/20

伊那 07/21-22

長野 07/24-25

『この子たちの夏』

料金は2000円

茅野 07/25

■観劇をご希望の方は必ず事前に、飯田の事務局へご連絡ください。連絡無しで直接会場へ行っても入場できません。ホームページでもう少し詳しくご案内しています。時間・会場などはそちらをご覧ください。

担当皆の力で「広い宇宙の中で」例会を成功させましょう!!

運営担当は 感動を伝える当番です

1年に1度の運営担当。例会当日の係分担はもちろんですが、例会までの2ヶ月間で、周りの人に演劇の魅力・感動を伝える当番でもあります。

スタートとなる1回目の担当会議を、下記日程で行ないますので、ご参加ください。

「広い宇宙の中で」
運営担当会議①
2007年7月4日(水)
夜7時00分から
羽場公民館2階

運営担当会議の開催は、例会の2ヶ月前からスタートとし、

- ①回目が例会の60日前
- ②回目が40日前
- ③回目が20日前…が目安です。

今度の例会は9月4日(火)です。概ね、①7月4日前後、②7月24日前後、③8月14日前後となります。

第1回目をジャスト2ヶ月前の7月4日に設定しましたので、お忙しい向きもあろうかと思いますが、はじめの一步の大事なスタートです。万障繰り合わせて、お問い合わせの上お集まりください。

★『広い宇宙の中で』は、元宝塚・旺なつきさんの歌・演技が光り、若く元気な劇団員たちの熱いエネルギーがピシピシと伝わってくる、スイセイ・ミュージカルらしい素敵な作品です。耳に心地よく残る♪広い宇宙の中…のメロディー。笑えて泣けて心が暖かくなる、感動ミュージカルです。



劇団NLT公演 コメディ『オスカー』

主役はご存じ村井国夫さん。テレビのパラエティ番組でも



よくお見かけしますね。

前作で出演されていた大沢健さんが、今回の舞台での出演も

確定しました。楽しみと期待が倍増ですね。

フランスの風俗劇。笑って笑って、今年を笑い納めしましょう。



2007/5/31現在の
会員数 618名
98サークル

スケジュールは携帯で

パソコンからでも 携帯電話からでも 今すぐアクセス!!

[Http://o-lrl.com/lsg/1/](http://o-lrl.com/lsg/1/)

◆いいだ市民劇場のスケジュールなどは、インターネットの公式サイトでお知らせしておりますので、携帯もしくはパソコンで上記アドレスにアクセスしてみてください。

◆事務局は、土曜・日曜・祝日は完全定休です。また出張・会議など諸事情により、事務局を臨時に閉めることが多くあります。お越しになる前には必ず24-9865へ電話をおかけになり、受付しているかを直前にご確認下さい。

◆郵送・電話・ファクス・メールで済むものは、これらでなるべくお願いします。

column

席割りに使う文化会館の座席表(模造紙大)を青焼きに行ったら、「機械が壊れてしまった上、環境問題などでアンモニアがもう使えない。」との理由で、もう青焼きは出来ないとのこと。A3サイズから模造紙大に拡大コピーすると1800円もかかる(!)というので、これからは手作りに切替えようと、パソコンに向かう。客席図を9つに区切って、部分部分をA3で作ってプリントアウトし、張り合わせる。結構緻密に作ったつもりだったが、貼り合わせるとちよつとずつずれて、やや美しさを欠く。が、数字がはっきり読めるし、線もシャープだ。なによりも安く作れる。これもエコロジーの一環かな? と自己満足。ロビーに張ってあります。みてやってください。

劇団NLT公演 コメディ オスカー

作・クロード・マニエ 翻訳・梅田 晴夫 演出・鶴山 仁

大金入りのカバンと宝石の入ったカバン、
さらには“ブラジャー”が飛び出すカバンまで現れた!!
ストレス解消、笑いっぱなしのヴァールヴァール。



村井国夫



大沢 健

12月4日(火) 18:30開演 飯田文化会館

いいだ市民劇場 入会のご案内

いいだ市民劇場とは、飯田の街へ演劇を呼びたい・観たいと思う仲間が集まって、月々の会費(大人2,000円、学生1,000円)を出し合い、年に4回の演劇公演を実現している、営利を目的としない文化団体です。会員になると、呼ぶ作品を企画することから始まって、公演当日までの準備・運営など、他ではなかなか味わえない楽しい出来事に参加できます。もちろん、公演当日は指定席でゆっくりと生の舞台を鑑賞できます。現在の会員数は約600名。あなたも今日から「飯田の地へ演劇を呼ぶ会」の仲間になりましょう!

★入会時には会費の他に入会金2,000円が必要です。
★なるべく3名以上の新規サークルをつくるか、
もしくは既存のサークルに追加加入してください。

その他、詳しくは事務局へお問い合わせください。

いいだ市民劇場

TEL0265-24-9865

〒395-0051 飯田市高羽町3-5-6

受付時間●午後3:00～午後7:00

いいだ市民劇場 入会申込書

サークル名			
氏名			生年月日
フリガナ			年 月 日
住所			
自宅電話			
勤務先			
事務処理欄			
MEMB-NO		DATE	

劇団スイセイ・ミュージカル

広い宇宙の中で

The Musical

耳をすませば ほら
聞こえてくるだろう
風に乗って届く 小さなささやき
あれは自然の声 命の言葉
いつも僕らに ささやいているから
広い宇宙の中 小さく光る命
それはこの地球より宇宙より大きなもの
広い宇宙の中 僕らは生きている
だから愛と夢抱いて生きている
耳をすまし 聞こえる命

演出・台本・作曲……西田直木
作・編曲……坂部 剛
振付……吉田 潔

Story

舞台は横浜。物語は、13年前から始まる。未婚を産むのと引き替えに、命を落としてしまった富士家の母・和子。ところが彼女は、夫・正太と子ども達の事が心配で、幽霊となってこの世にとどまる事を選ぶ。

それから13年後……。ある日、正太が突然「再婚する」と言い出した。誰よりもショックを受けたのは、幽霊の和子だった。再婚相手は、小料理屋を営む赤城照代という女性。悲しい過去を背負いつつも、明るい笑顔を絶やさない照代。しかし、母の面影を今も慕い続ける長女の陽子を初め、子ども達は複雑な思いを抱く。特に、厳格な祖母に育てられ、家柄を重んじる次女の彩恵子は、照代を拒絶する。

マイペースな三女・明美、おとなしい長男・昌也、無口な四女・ひかる、陽子の恋人・靖。そして正太の大親友・源次郎とその母・ハナ、さらにイギリスからやって来た霊能力を持つ従兄弟・樹実生を巻き込んだ大騒動が幕を開けた。

「フェーム」「オンリーワン」「夢があるから!」など国内外で高く評価されるミュージカルを創り続けてきた劇団スイセイ・ミュージカルがお送りする待望新作オリジナル・ミュージカル。旺なつきが魅せる! ハートフルミュージカルです。

9月4日(火)
18:30開演
飯田文化会館

